

中小企業振興会議 商業振興検討部会 議事要旨

日時	令和2年10月12日（月）午後6時から午後8時まで
場所	東大阪市役所総合庁舎14階会議室
出席者	○中小企業振興会議委員8名、 加藤委員、茨木委員、大西委員、芝田委員、白山委員、西田委員、光岡委員、和合委員 ○事務局 東大阪市都市魅力産業スポーツ部商業課 藪内課長、高野総括主幹、今埜主査
案件	「次期商業活性化方針案」について

会議の経過は以下のとおり。

【1. 会議の目的】

- 令和元年度に実施した東大阪市商業実態調査結果を報告し、市の商業に関する現状について共有を図る。また、それを踏まえて、令和3年度から実施する商業の新しい方針案について素案を事務局から示し、議論を行う。

【2. 会議の総括】

- 商業実態調査については地域内循環を視点に調査が行われ、できるだけ市内で買い物をすること（バイローカル）が重要になってくる。調査結果からは人口が減少し、消費支出も変わってくる中で、東大阪市では製造業とともに小売卸売業も、雇用や消費という観点からも市を大きく支える産業となっていることが分かる。商店街での買い物比率は少ないが、空き問題を考える場合にどういった業種をいれるかについて、競争に勝っている商店街の構成を参考にして、エリアとしての価値を向上させるためにどのような構成をとるかをマネジメントする必要が出てくる。

事務局から提案した（仮称）商業活性化方針案については、各委員で議論した結果、概ね方針としては承認を得られたが、課題設定について⑦「消費環境の変化」は、消費だけに限らず、多様な環境要因への対応が課題となることや、また3つの方針の内、③「民間企業（新業態）との連携」についても、民間企業だけに限らず、地域の自治会や、教育機関等広く含めるべきという意見が出た。また、コロナ禍において、買い物場所も含め、消費の在り方が変わってきていることから、特に、ICTを活用した商品の売り方や店舗のPRの仕方について議論され、行政においてサポートするメニューの必要性が問われた。その他、個店支援に関するメニューを新方針における施策としては拡充していく必要性や、多様な補助メニューについて相談・利用を支援する事務局機能をどうしていくのかという点について課題が見出された。次回の部会においては、事務局より各意見を踏まえた方針案を再度提出する。

### 【3. 質疑・意見要旨】

#### <商業実態調査>

- (委員) コロナの影響は非常に特殊という感じはするが、今後はこういうことも考慮していかないといけない。
- (委員) コロナの影響をどのぐらい次の計画に反映させるかという問題でもある。
- (委員) 近場の商店街の存在価値というか、役割みたいのを再認識している。
- (委員) 近隣型というか、コミュニティを大事にする商店街ってのはもっと打ち出してもいいような感じがする。
- (委員) すごくよく纏まっている。各商店街がどういう商店街を目指すのかを自分たちで考える材料が大分入っていると思うので、ぜひ、商店街の人達にじっくり読んでいただいて、何をやるべきかを考えてもらえるきっかけになると良い。
- (委員) コロナがどういう風に収まるかについては、まだ全然見えてないので、その影響を考慮して商業振興を考えるというのは、なかなか難しい。まずはコロナがない段階について、どうあるべきかを考えていかざるをえない。
- (委員) 商売以上に、消費者の方の意識が変わっていくと思うので、今年コロナがあって、商売のやり方とか、これから商店街のやり方を考えていかないといけない。

#### <商業実態調査>

- (委員) これからSNSが絶対必須になってくると思う。お店の特徴をどう皆さんに知っていただくかという方法をまず考えていかないといけない中で、そのやり方をまず、レクチャーしていただけるような、補助みたいなものがあればいいと思う。
- (委員) 今あることをどう生かしていくかっていうのは、もうちょっとみんなで考えていかれた方がいいかと思う。
- (委員) SNSとか、IT関係というのは非常に不得意な方々がたくさんいて、方向的なものがわかっているけど商店街の会長そのものがついていけない事情がある。ただ、避けて通るわけにいかないなので、デジタルというか、SNSを含めて、そういう方向に移行しつつあるが、なかなか現実に持っていくのが難しいというのが現状。
- (委員) 高齢者がどんどん増えているなかで、商店街の役割として、治安や防犯への寄与が1番目に来ていることは素晴らしいと思う。決してズレという感じだと捉えてなくて、地域コミュニティとして商店街があることによって、学校とか福祉施設と連携することで、すごく防犯意識も上がり、防災拠点として機能していければ、商店街って買い物をするだけの場所じゃなくなってくると思う。
- (委員) 商店街のあり方としては、やっぱり地域コミュニティを支えるというか、やっぱり地域にとってなくてはならないものとかっていうのを、柱として打ち出すかがポイントだと思う。
- (委員) 消費環境の変化だと、余りにも消費に偏りすぎるので、いっそのこと環境の変化への対応が課題になっているというぐらいに広くとらえる。ここには、ICT等の対応とかも入れてあげて、解決するときはどうするかっていう話になると思う。

- (委員) 専門家を入れるとしても、パソコンの操作だけの専門なので、商売をしていくとか、まちを活性化するっていうのは、別になってくると思う。
- (委員) コンサルタントは非常に有効性、有用性はわかっているけど、結果的には費用だけかかって何も残ってないというのが、今まではあったので、そこら辺を解消するのはいいかなと思う。
- (委員) 方針の民間企業の新業態と連携について、民間企業に限定すると、かなり限定されてくるイメージになるので、方針として例えば大型店での連携みたいなのを含むような形の、他の組織との連携みたいに広くとっておくほうが、生きてくると思う。
- (委員) 去年のラグビーワールドカップ時に、布施の北のクリアホールで町工場のイベントが行われたが商店街は商品しか売れない中、町工場とコラボしてアピールした結果、たくさんの方が訪れた。別にモノを売るのでなくて、こういう技術が東大阪市にあるっていうのを見せられたかと思う。
- (委員) 商店街ってそんな情報もあるのかっていう、なんかそういうものがあれば面白いと思う。
- (委員) 商店街は手一杯なので我々はやっていくのは難しい。
- (委員) 商店街の人がやらなくていいような仕組みにしたらい。周りにそういうことをやりたい人がいれば、入ってこられるような、そういった意味での他の組織との連携も考えられる。
- (委員) 商店街どうしの連携ってなかなかやっぱり仕事量が増える一方で、ちょっと今はできない。
- (委員) 防災教室を商店街で開くとか、防犯教室もそ商店街でやることによって、アピールにはなっていくと。それで、消費に繋がるかどうかはまた別と思う。
- (委員) 地域コミュニティの核があって、そこに皆が乗って来れるような、そういう仕組みにしておいたほうがいい。
- (委員) 補助金に関しては、書類が多く、忙しくてそれどころじゃないという場合があるので、コンサルを呼んでくる場合が多い、その点について解決していただければいいと思う。
- (委員) 個店支援について、空き店舗対策とか、そういう部分っていうのはサポートがあるかと思うが、現状の店舗の老朽化に対して支援は何かないか。
- (委員) ソフトに関する支援ぐらいならいけそうな気がするが、物を改装するのに、商売人がやっているところに、税金を入れるっていうのは、ちょっと抵抗があると思う。それなりの理由がないと難しい。
- (委員) 日本商工会議所がやっている小規模事業者持続化補助金がある。
- (委員) 商店会に入るかどうかは、結構こちらがいろいろメニューを用意しとかないとなかなかメリットを感じてもらえない。本当は損得で入るものではないと思っているけど、それはなかなか伝わらない。だから商店街で新しいお店を何か助けるとか補助ができる、応援できる、チャレンジ支援みたいな感じで商店街に落とし込んでから、そこから商店街が動くみたいな流れもいいかなと思う。
- (委員) 方針の③の民間企業（新業態との連携）は、民間企業に限定する必要がないので、文言は変えたほうがいいと思う。
- (委員) 地域密着の視点を入れるべきかということについては、各商店街の皆さんがどう考えるかなので、そのビジョンの中にそういうのが入ってくれば、それをやればいいし、そういうことを考えない商店街についてはいらないので、地域密着を書く必要もないかなと

思う。

(委員) 行政の口実だけではなくて、やっぱり生き残ろうというか、商店街として継続しようということ。やっぱり地域のお客様あってなので、理念として考えているということが必要かと思う。

(委員) 個店支援と言った時には何があるのか。

(事務局) 今あるメニューでいうとあきんど塾とか、空き店舗活用補助金になるが、そこを新たに何か考えていかないといけないと思っている。

(委員) 空き店舗に新規参入するようなのは、個店支援とはなじまない気がする。あれは空き店舗対策であって、既存の商店街の中の個店を、今までは商店街単位で支援してきたけど、これからは、強い個店が集積を作るという意味では、個店に対して直接支援するという考え方を持たないといけないというのが個店支援だったと思う。

(事務局) 2年前に Google マイビジネスへの店舗登録支援を行ったが、その辺はもう少し充実していった方がいいのか、他に意見があれば、教えていただければ考えていきたいと思う。

(委員) きめ細かいサービスであるとか、或いは何かどっかに申請するときに、こんないいのがあるとか、或いは情報のマッチングも含めて、何かどっかでやらないといけないと思う。

(委員) よろず相談的なところが東大阪市は限られているから、あったほうがいいと思う。

#### 【4. 配布資料】

- ・ 資料1 商業振興検討部会委員名簿
- ・ 資料2 (仮称) 東大阪市商業活性化方針 (案)
- ・ 参考 東大阪市第3次総合計画 (概要版)